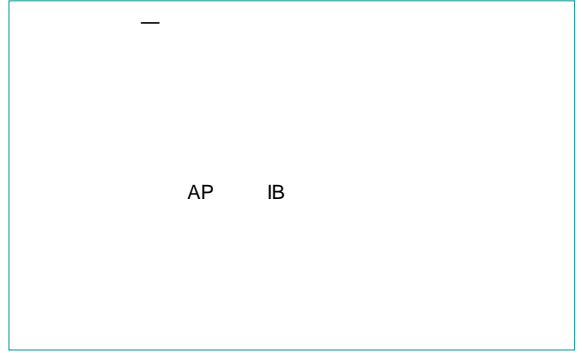


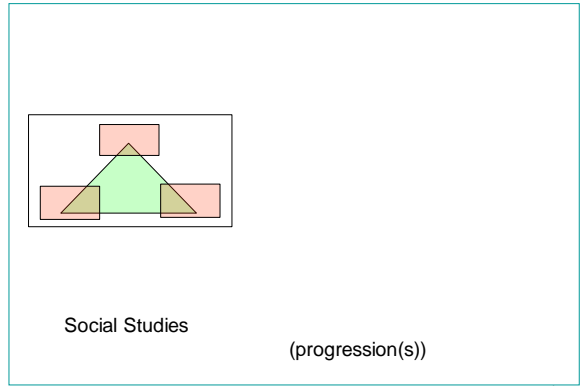
1



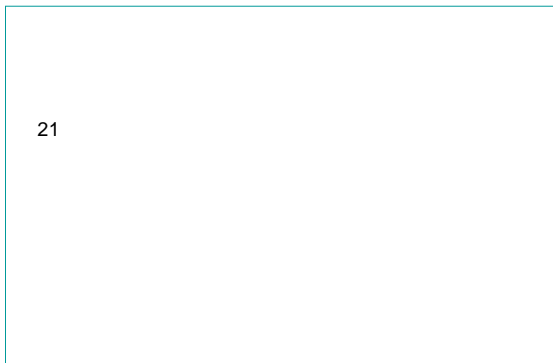
2



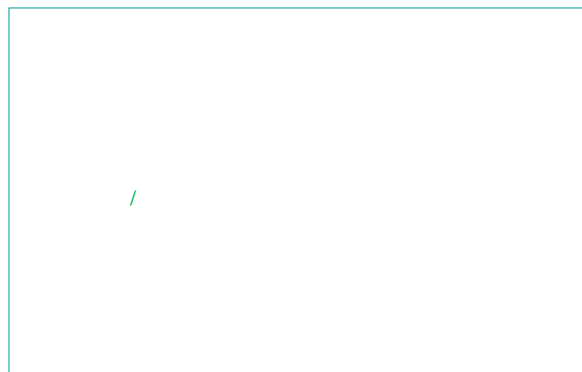
3



4



5



6



7



8

日本 産経 新聞 2015年 平成27年 12月20日 日 1

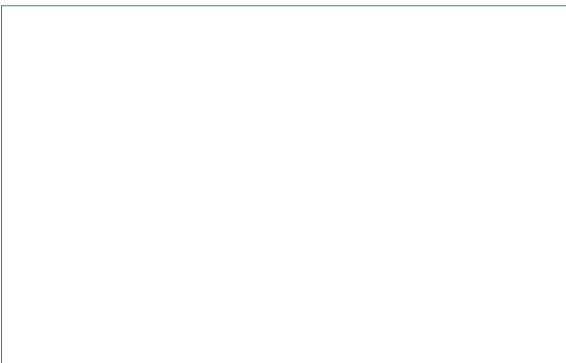
高校の 国立大財務

1

9



10



11

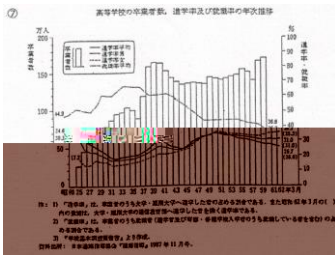
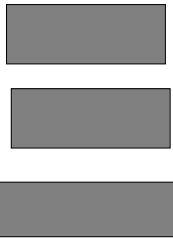
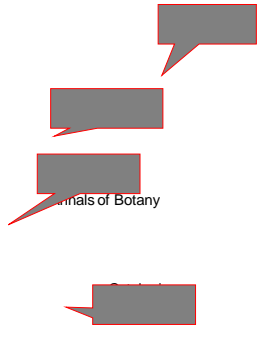
• 1880-1971



1880 2 16
1892
1896
1896
1898
1902

1905
1906
1907
1911
1914

1919
1927
1929
1949
1955
1971 3 24



-
-
-
-



IB

1990 2000
1

20

5 16

5 19 /

(1919-23) :

5 24 14

5 26

5 30 1919-23 /

IB

5 30

USA UK

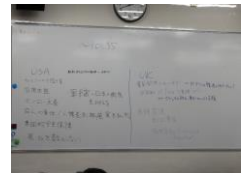
10 → 3

10

10

Paper2 Paper3

IB



IB

A
B

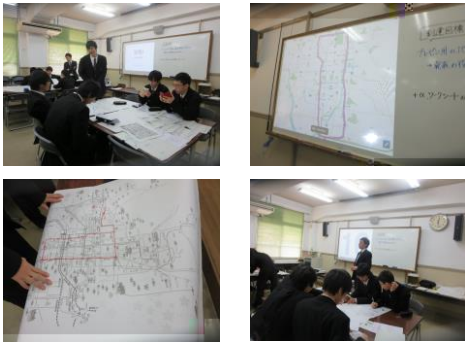
B

C

10 12

13 15

→



2000
1



MQ2

高等学校地理歴史科、公民科に課される教科目のイメージ

地理歴史科		公民科		
現代社会の諸課題の解決を視野に入れて学習(各科目について主として「空間」「時間」及び「現代社会の構造等」に着目) 「地理総合(必修)」 持続可能な社会づくりを目指す。現代社会における環境・資源・エネルギーの持続可能な利用と、現代社会の発展を支える地理的・社会的課題を学ぶ。	「歴史総合(必修)」 歴史の特性や変化を踏まえ、課題の解決を視野に入れて、歴史と現代社会のつながりを探る。	「公共(必修)」 現代社会の諸課題の解決に向けて、自治体を中心とした地域活動を通して、公共的課題の解決を目指す。		
「地理探究(必修)」 現代社会の諸課題を視野に入れ、持続可能な社会づくりを目指す。	「日本史探究(必修)」 日本史の特性や変化を踏まえ、課題の解決を視野に入れて、歴史と現代社会のつながりを探る。	「世界史探究(必修)」 世界史の特性や変化を踏まえ、課題の解決を視野に入れて、歴史と現代社会のつながりを探る。	「倫理(必修)」 現代社会の諸課題の解決に向けて、倫理の重要性を学ぶ。	「政治・経済(必修)」 現代社会の諸課題の解決に向けて、政治・経済の重要性を学ぶ。

必修科目で育んだ理解や技能を用いて、より専門的な視野から広く深く探究

MQ2

高等学校学習指導要領における「公共(必修)」の改訂の方向性

必修科目「公共(必修)」

改訂の方向性

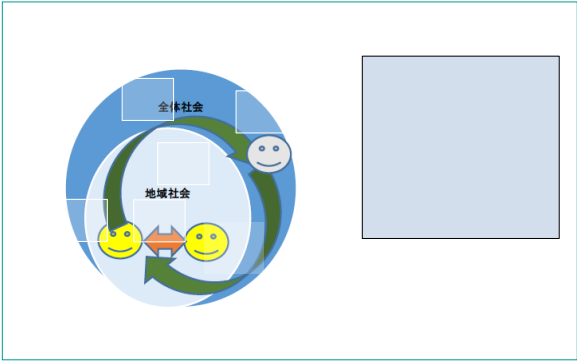
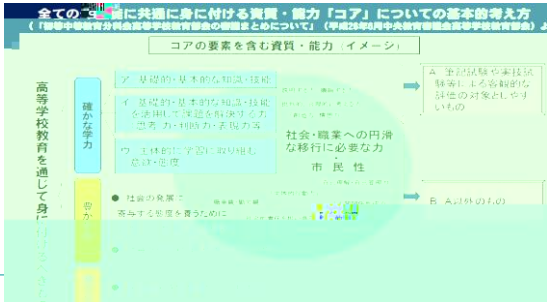
「公共(必修)」の目標

「公共(必修)」の学習内容

「公共(必修)」の学習成果



MQ3



38

MQ3



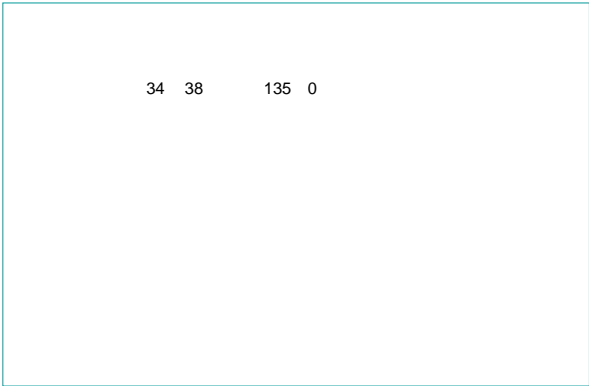
39



43

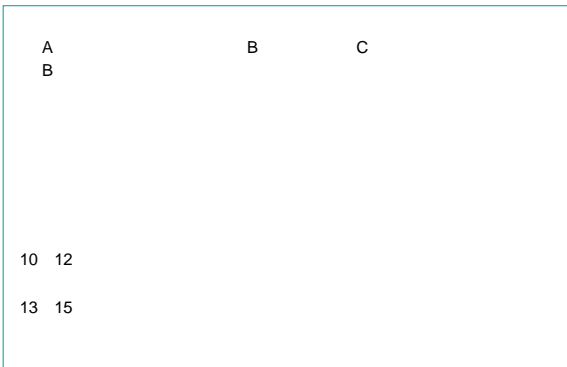


44



34 38 135 0

45



A B C

10 12

13 15

47



48